

庵治・牟礼産地の未来のために 今こそ若手の力を結集するとき！

庵治石材産地 石翔会

香川県・庵治石材産地の若手メンバー（庵治石開発協同組合青壮年部、協同組合庵治石振興会青壮年部、讃岐石材加工協同組合・石栄会の会員）で構成される「庵治石材産地・石翔会」は1992年の発足以来、庵治石の新たな市場創造・庵治産地のブランド化に向けた取り組みなど、様々な活動を展開してきている。

近年においても小売石材店における庵治石製品・墓石の販売促進をサポートする庵治石ソムリエ養成制度、建材分野における庵治石の新たな活用提案など、若手ならではの柔軟な発想と行動力を活かした取り組みを進めてきている。今後の庵治産地の活性化に向けた想いなどについて、7月より新会長に就任した大川弘展氏と前会長の山田幸輝氏にお話をうかがった。



写真左より大川弘展新会長、山田幸輝前会長

「石翔会」の設立の経緯は、どのようなかのだったのでしょうか。山田 庵治産地には庵治石の採掘を行なう事業者で構成される「庵治石開発協同組合」と、石材加工業者で構成される「協同組合庵治石振興会」という3つの組合があるのですが、各組合の垣根を越えた若手同士の交流、また、産地全体の活性化に向け、若手ならではの発想を活かした活動を行なうために結成された。



石翔会事業の一例

「庵治石ソムリエ養成制度」

2012年から継続して開催（これまで計10回開催）
【目的】全国各地の小売石材店の方々に庵治石と庵治産地のことをより深く知ってもらい、庵治石製品の販売やPRに役立てていただくこと。
【内容】全国各地より参加者（小売石材店）を募り、庵治石の工場や産地の加工工場を見学＋座学を受講した上で修了書を配布。修了者の方には各事業所において研修で学んだことを活かし、庵治石製品の販売やPRに役立てていただく。



「ギフトショーへの出展」

(2013年3月6日・7日)
【目的】お墓のイメージが強い庵治石を、日常生活の中に取り入れていただくこと。庵治石＝墓石という固執したイメージからの脱却を目指す。
【内容】高級素材である庵治石を活かして食器・日用雑貨品等を製作する。日常生活の中に庵治石を取り入れてもらい、より身近に感じてもらう。



「建材フェアへの出展」

(2020年11月11日～13日)
【目的】建築石材としての庵治石の魅力を発信し、素材の有効活用を促す。
【内容】割肌・切削・研磨・ピシャン・小叩きなど、様々な表情を持つ「庵治石」を全国のバイヤー・建築デザイナーの方々に見ていただき、建材としての魅力を発信。新東京国立競技場などの施工例も紹介し、実際の利用イメージを高めてもらう。

「石翔会」の設立の経緯は、どのようなかのだったのでしょうか。山田 庵治産地には庵治石の採掘を行なう事業者で構成される「庵治石開発協同組合」と、石材加工業者で構成される「協同組合庵治石振興会」という3つの組合があるのですが、各組合の垣根を越えた若手同士の交流、また、産地全体の活性化に向け、若手ならではの発想を活かした活動を行なうために結成された。

「石翔会」の設立の経緯は、どのようなかのだったのでしょうか。山田 庵治産地には庵治石の採掘を行なう事業者で構成される「庵治石開発協同組合」と、石材加工業者で構成される「協同組合庵治石振興会」という3つの組合があるのですが、各組合の垣根を越えた若手同士の交流、また、産地全体の活性化に向け、若手ならではの発想を活かした活動を行なうために結成された。

「石翔会」の設立の経緯は、どのようなかのだったのでしょうか。山田 庵治産地には庵治石の採掘を行なう事業者で構成される「庵治石開発協同組合」と、石材加工業者で構成される「協同組合庵治石振興会」という3つの組合があるのですが、各組合の垣根を越えた若手同士の交流、また、産地全体の活性化に向け、若手ならではの発想を活かした活動を行なうために結成された。

「石翔会」の設立の経緯は、どのようなかのだったのでしょうか。山田 庵治産地には庵治石の採掘を行なう事業者で構成される「庵治石開発協同組合」と、石材加工業者で構成される「協同組合庵治石振興会」という3つの組合があるのですが、各組合の垣根を越えた若手同士の交流、また、産地全体の活性化に向け、若手ならではの発想を活かした活動を行なうために結成された。

「石翔会」の設立の経緯は、どのようなかのだったのでしょうか。山田 庵治産地には庵治石の採掘を行なう事業者で構成される「庵治石開発協同組合」と、石材加工業者で構成される「協同組合庵治石振興会」という3つの組合があるのですが、各組合の垣根を越えた若手同士の交流、また、産地全体の活性化に向け、若手ならではの発想を活かした活動を行なうために結成された。

「石翔会」の設立の経緯は、どのようなかのだったのでしょうか。山田 庵治産地には庵治石の採掘を行なう事業者で構成される「庵治石開発協同組合」と、石材加工業者で構成される「協同組合庵治石振興会」という3つの組合があるのですが、各組合の垣根を越えた若手同士の交流、また、産地全体の活性化に向け、若手ならではの発想を活かした活動を行なうために結成された。

「石翔会」の設立の経緯は、どのようなかのだったのでしょうか。山田 庵治産地には庵治石の採掘を行なう事業者で構成される「庵治石開発協同組合」と、石材加工業者で構成される「協同組合庵治石振興会」という3つの組合があるのですが、各組合の垣根を越えた若手同士の交流、また、産地全体の活性化に向け、若手ならではの発想を活かした活動を行なうために結成された。

新会長に大川弘展氏 7月10日に第34回通常総会を開催

庵治石材産地・石翔会では去る7月10日、讃岐石材加工協同組合の会議室において「第34回通常総会」を開催。上程された全議案が承認され、大川弘展氏（写真）が新会長に就任した。

石翔会では昨年度、東京ビッグサイトで開催された「建材フェア（第15回ふるさと建材・家具見本市）」に出展し、建材としての庵治石製品の魅力をPRしたほか、毎月1回のペースで役員会を開催し、会則の変更なども行なってきた。今年度も庵治石材産地のブランド化に向けた取り組み、親睦事業などを企画していくと共に、三青壮年部の合併に向けた検討なども進めていく予定となっている。

◆庵治石材産地 石翔会（事務局＝讃岐石材加工協同組合内）
香川県高松市牟礼町牟礼2625-18 TEL087-845-2446

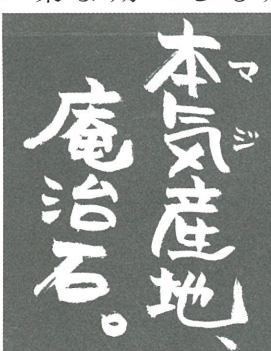


「丁場にはこういって人がある」「加工はこういって人がある」といって、それぞれが持っている知識や情報、そして意識の共有を進めることです。石翔会では庵治石の採掘と加工に携わる若手で構成されています。かつては、丁場と加工の繋がりが取引関係のあるところのみ、という状況でしたが、これまでの石翔会の活動を通して、親睦・交流が深められてきたことで、

「丁場にはこういって人がある」「加工はこういって人がある」といって、それぞれが持っている知識や情報、そして意識の共有を進めることです。石翔会では庵治石の採掘と加工に携わる若手で構成されています。かつては、丁場と加工の繋がりが取引関係のあるところのみ、という状況でしたが、これまでの石翔会の活動を通して、親睦・交流が深められてきたことで、

「丁場にはこういって人がある」「加工はこういって人がある」といって、それぞれが持っている知識や情報、そして意識の共有を進めることです。石翔会では庵治石の採掘と加工に携わる若手で構成されています。かつては、丁場と加工の繋がりが取引関係のあるところのみ、という状況でしたが、これまでの石翔会の活動を通して、親睦・交流が深められてきたことで、

「丁場にはこういって人がある」「加工はこういって人がある」といって、それぞれが持っている知識や情報、そして意識の共有を進めることです。石翔会では庵治石の採掘と加工に携わる若手で構成されています。かつては、丁場と加工の繋がりが取引関係のあるところのみ、という状況でしたが、これまでの石翔会の活動を通して、親睦・交流が深められてきたことで、



石翔会考案のキャッチフレーズ

「丁場にはこういって人がある」「加工はこういって人がある」といって、それぞれが持っている知識や情報、そして意識の共有を進めることです。石翔会では庵治石の採掘と加工に携わる若手で構成されています。かつては、丁場と加工の繋がりが取引関係のあるところのみ、という状況でしたが、これまでの石翔会の活動を通して、親睦・交流が深められてきたことで、

